

## ソニーグループの AI への取り組み

ソニーは、AI（人工知能）を活用することにより、平和で持続可能な社会の発展に貢献し、人々に感動を提供することを目指しています。同時に、ソニーは、AI が社会に与える影響について様々な議論が行われていることを認識しています。ソニーは、エレクトロニクスを礎に事業領域を拡大し、音楽、映画などのエンタテインメント事業や、金融事業を手掛ける、多様性を持ったグローバル企業となりました。「クリエイティビティとテクノロジーの力で、世界を感動で満たす。」という共通の Purpose（存在意義）を踏まえてこれらの事業を運営していくために、ソニーグループ AI 倫理ガイドラインを定め、多様なステークホルダーとの対話を進めるとともに、ソニーにおける AI の活用や研究開発を促進していきます。

## ソニーグループ AI 倫理ガイドライン

### 本ガイドラインの適用範囲

ソニーグループ AI 倫理ガイドラインは、ソニーの全ての役員および従業員が AI の活用や研究開発を行う際の指針を定めています。ソニーにおける AI の活用とは、以下を指します。

1. ソニーが AI を利用した商品・サービス（エンタテインメントコンテンツや金融サービスを含みます）を提供すること
2. 研究開発、製造、サービスの提供、間接業務などソニーの事業における様々な業務で AI を利用すること

### 本ガイドラインにおける定義

「AI」とは、データに基づく機械学習や何らかの手法で抽出したルールや知識により具現化される機能またはその機能を実現するための技術であり、知的と感じられる様々な目的のために情報処理を行うものを指します。

「ソニー」とは、ソニーグループ株式会社およびソニーグループ株式会社が直接または間接的に議決権の過半数を保有する会社をいいます。

### 本ガイドラインの見直し

ソニーは、AI に関する各国・各地域の指針、人々の生活スタイルや環境の変化、業界における事例の蓄積、また様々なステークホルダーとの対話を踏まえ、必要に応じて、本ガイドラインを見直し、進化させます。

## **1. 豊かな生活とより良い社会の実現**

ソニーは、AI に関する研究開発を進め社会と調和した AI の活用を促進することで人々の可能性を広げて生活をより豊かにし、クリエイティブで新たな感動を数多く提供して文明の発展と文化の向上に資することを目指します。ソニーは、AI の力を、地球規模の問題解決への貢献や平和で持続可能な社会の発展のために活用するよう努めます。

## **2. ステークホルダーとの対話**

ソニーは、AI のより良い活用にも努めるとともに、AI を活用する上で生じる課題の解決のために、お客様やクリエイターの方々をはじめ多様なステークホルダーの関心に配慮し、関連する企業、団体および学術コミュニティ等と積極的に対話を進めます。また、対話の内容およびその結果をソニーの研究者や開発者を含め関連する事業に関わるソニーの役員および従業員に共有し、様々なステークホルダーとの更なる対話を行うための仕組みを構築します。

## **3. 安心して使える商品・サービスの提供**

ソニーは、AI を活用した商品・サービスの安全性を目指すとともに、不正なアクセス等セキュリティリスクに継続的に対応してまいります。また、AI のシステム構築において、統計的あるいは確率的な手法が用いられる場合があることから、ソニーは、このような手法の特性を理解した上でシステム全体の設計を行うなど、安心して使える AI の提供に努めます。

## **4. プライバシーの保護**

ソニーは、法令および関連する社内規則に従い、AI を活用した商品・サービスに関連して把握するお客様の個人情報保護に関するセキュリティを強化し、お客様の意思を尊重して個人情報を取り扱う環境を築き、お客様からの信頼を確保するよう努めます。

## **5. 公平性の尊重**

ソニーは、AI の活用において、不当な差別を起こさないよう、多様性やお客様をはじめ様々なステークホルダーの人権を尊重すると共に、ソニーおよび関連する業界での活動を通じて社会課題の解決に寄与するよう努めます。

## **6. 透明性の追求**

ソニーは、商品・サービスにおいて活用された AI による判断の理由が捕捉可能となるような仕組みを、当該商品・サービスの企画・設計段階において予め導入する可能性を追求していきます。また、お客様が当該商品・サービスを利用した場合に想定される影響に関して、理解しやすい説明や情報を提供するよう努めます。

## **7. AI の発展と人材の育成**

これまでも技術の進展により人々の生活は変化してきました。ソニーは、AI を活用した商品・サービスが社会に与える影響を認識した上で、より良い社会を実現する AI の発展に貢献し、AI の活用や研究開発を通じて明るい未来を形創ることができる人材の育成に積極的に取り組んでいきます。

発行日

2018年9月25日

改定日

2019年3月1日

改定日

2021年4月1日